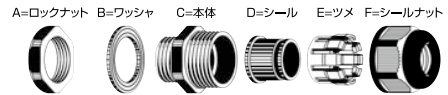
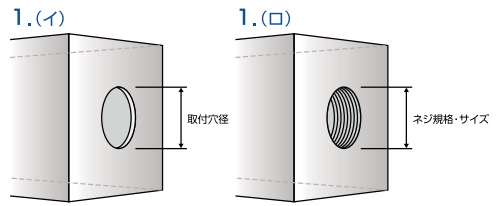


スーパーグラウンドの取り付け作業手順

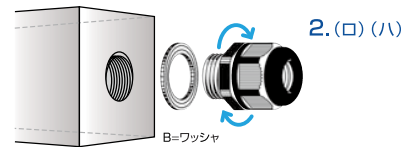
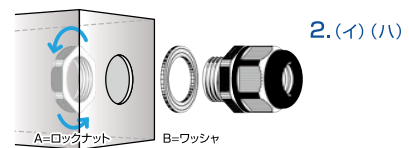
1. 筐体側の取付部に取付穴を開ける。

- (イ) 打ち抜き穴・ネジ無し穴の場合は使用されるケーブルグラウンド品番による、カタログ表中の「取付穴径」を参考に穴加工して下さい。
- (ロ) タップ穴の場合は使用されるケーブルグラウンド品番の取付部ネジ規格を照合の上、同規格のタップを選定して穴加工して下さい。但しナイロングラウンドを使用する場合は、筐体側タップ加工はオーバータップで仕上げを推奨します。
- (ハ) 筐体の表面粗さは Ra25 (JIS B 0601) 「仕上記号▽」以上を推奨します。



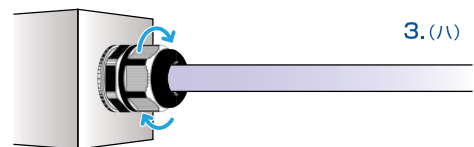
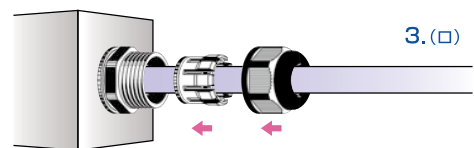
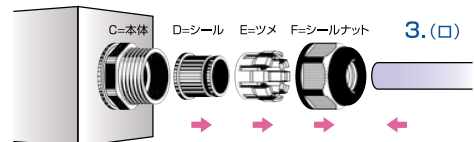
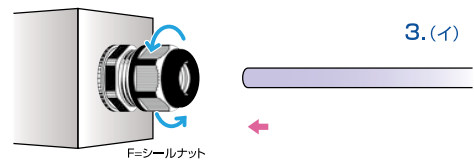
2. スーパーグラウンドを筐体へ取り付ける。

- (イ) ロックナットを取外しケーブルグラウンド取付部を筐体取付穴に挿入。(ワッシャは外さず、筐体外側に位置)次に筐体内側からロックナットをねじ込み本体と固定して下さい。
- (ロ) タップ穴の場合はロックナットを外し、取付部をタップ穴へねじ込み固定して下さい。
- (ハ) 上記、ロックナット又は本体取付部をねじ込む時の締付トルクは、手締めで完璧に締め込むか、工具で締付けて負荷を感じた時点から 90° (= 1/4 回転)の増し締めが適正でそれ以上の締め込みは避けて下さい。
(過剰トルクはシール効果の妨げ、ロックナット等の破損の原因となります)



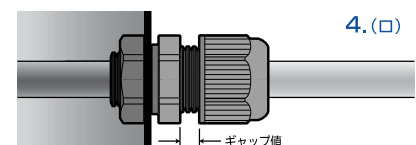
3. ケーブルを通し、シールナットを締付ける

- (イ) シールナットを緩めてケーブルをシールナット/シール/ツメ/本体内部を貫通させ、筐体内側の端末処理をした後、シールナットを締め込み固定して下さい。
- (ロ) シールナットの締付けは手締めで完璧に締め込むか、工具で締付けて負荷を感じた時点から 90° (= 1/4 回転)増し締めが最適で、それ以上の締め込みは避けて下さい。
(過剰トルクはケーブルの損傷、シールナットの破損、シールの変形による漏水等の原因となります)
※特に強いケーブル引張強度を要求される場合や水面下でご使用の場合は推奨締付けトルク値をお問合せ下さい。
- (注) 本体部の共回りを避けるため、シールナットの締付けトルク値はロックナット又は本体六角部の締付けトルク値と同等以下に設定して下さい。



4. 締付けトルク管理

- (イ) トルクレンチで推奨締付けトルク値にて締付けて下さい。
- (ロ) トルクレンチを所持しない場合や現場の状況でトルクレンチが使用できない場合は、本体(C)六角部とシールナット(F)底部のギャップ値でトルク管理できます。但し仕様変更や製品の個体差、またご使用電線の形状・個体差等により、ギャップ値の数値が変化もしくは変わる場合がありますので注意が必要です。
ギャップ値は目安であって最適ではありません。



※防水仕様でのご注意：
当社推奨対応電線サイズでも電線被覆材質・外形寸法・使用条件等により IP68 を確保できない場合もあります。
実際にご使用される条件下での評価試験後にご使用戴くことを推奨致します。